

令和4年度 第2回 河輪小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年6月30日（木） 14時00分から16時00分まで
- 2 開催場所 河輪小学校 1階会議室
- 3 出席委員 鈴木大介、渋谷德行、太田尚吾、藤田正治、藤田沙奈江、島津真理子、
間宮年弘、中村健二
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 太田賀子（校長）、宮崎（教頭）、鈴木江利子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 （教育総務課）
- 7 傍 聴 者 1人
- 8 協議事項
 - （1）議長の選出について
 - （2）令和4年度コミュニティ・スクールの取組について
 - （3）夢育やらまいかについて
- 9 連絡事項 学校の行事について
- 10 会議録作成者 CSディレクター 鈴木江利子
- 11 会議記録

司会から、委員総数8人の全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会が議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員から会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）令和4年度コミュニティ・スクールの取組について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づきコミュニティ・スクールの取組について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 災害時のボランティアのニュースなどからボランティアに対する意識が高まっていることを感じる。（渋谷委員）
- ・ 学校のボランティアについては、時期・場所・内容・テーマ（テーマに沿った人材）等が知られていると分かりやすい。（太田委員）
- ・ ボランティアは母親として、時間の都合がつけば参加したいと思っている。（島津委員）
- ・ キャリア教育、クラブ活動など、いかにしていかにして楽しく学習していくかだと思う。自分もクラブの講師をやってもいいと思っている。
- ・ 旗振りの募集をしていかなければいけない。次の世代に引き継ぐことも考えたい。（太田委員）
- ・ 茶道クラブの講師をしている。浜松市災害ボランティアの資格を持っているので、災害に

役立つ笛の作り方を教えたい。浜松市防災学習センターへ学習に行くことも役立つと思う。

(藤田佐奈江委員)

- ・ 元教員として、教員が忙しすぎて子供と触れ合う時間が少ないので、これを解消するためにコミュニティ・スクールが設定された。教員から困っていることを聞いて必要なこと(ミシン縫いの支援や水かけの地域ボランティアなど)を募集したら良いと思う。(間宮委員)
- ・ PTA 会長としては、子供の数が減少しているので、会員である親の数も減少していることに課題を感じている。絶対的に人の数が足りない。情報発信として、保護者は「さくら連絡網」、地域には回覧板で早め早めに知らせたい。(中村委員)
- ・ ボランティア募集はコーディネーターを通して地域の方を紹介してほしいと考えている。資料 8 ページに例を挙げてあるけれども、2 学期以降は募集の CS 便りも出したいと思っている。(校長)
- ・ まずは PTA 役員で、足りないところをコーディネーターに連絡したらどうか。(間宮委員)

(2) 夢育やらまいかについて

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づいて説明があり、委員から、以下の発言があった。

- ・ ボランティアのお礼の手紙は、子供に書かせるということで担任の負担にならないようにしたい。(間宮委員)
- ・ 負担になるようなら無しでもよいと思う。(藤田正治委員)
- ・ 受け取る側にとっては大変うれしいものであるから、相手に気持ちを伝えるという学習としての取組ならばよいのではないか。(藤田佐奈江委員)

(3) 学校行事に関する連絡事項

- ・ 5 年生林間学校 7 月 7・8 日 船明
- ・ 6 年生修学旅行 10 月 19・20 日 東京方面 感染対策としてバス往復

※通学路の安全について

安全のための要望は自治会と学校の協同で要望書を作成して提出する方がよい。(藤田正治委員)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和 4 年年 1 1 月 1 日(火)午後 1 時 30 分から 1 階会議室で開催する旨の報告があった。